

## 平成28年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山岸和美
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3112
<b>事務事業名</b>	4037 低公害自動車導入事業											
<b>所 属</b>	050100 総務部・総務課											
<b>施 策</b>	03011100 環境を守る活動の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	020106 総務費・総務管理費・車両管理費										
	<b>事業</b>	020000 低公害自動車導入事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
効率的な公務の執行のみならず、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止の一助とするとともに、市民の環境保護意識の醸成を図る。						集中管理車両として低公害自動車の導入。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 予定</b>
普通乗用車の更新予定なし 低公害自動車保有 8台	普通乗用車2台を引き続き低公害車で更新 電気自動車1台を更新 低公害自動車保有 8台
<b>平成29年度 予定</b>	<b>平成30年度 予定</b>
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>

指標名	二酸化炭素（CO2）排出量の削減				
算式	ハイブリッド車の燃費をガソリン車の1.3倍で算出する。				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	25	25	25	25
	実績				
指標選定の理由	須坂市役所CO2削減実行計画に基づくCO2削減を図る				
最終年度目標の根拠	現在保有している車両を継続して保有する見込みであるため				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		3,586	3,332
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,586	3,332
人員数(人)	正規職員	0.1	0.2
	嘱託職員	0.2	0.5
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	720.8	1,441.6
	嘱託職員	541.0	1,352.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,261.8	2,794.1
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,847.8	6,126.1

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,586	車両リース料 8台分

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,332	車両リース料 8台分

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	地球温暖化防止のため地域主体として率先して取組みを推進する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	低公害車の導入により、CO2の削減とともに経費削減が図られている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	エコドライブに努めることで燃費を上げ、コストの削減に繋げることができるので、職員のエコドライブへの意識を高める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

低公害車を導入していることで完了とせず、車両の台数の見直しなども検討する必要がある。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント	
<p>二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量は、低公害車を導入することで確実に抑制されているため、継続することや台数を増やす必要がある。</p>	

## 2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
2次評価コメント	
<p>集中管理車両のみならず、他課の車両についても、低公害車の導入や車両台数の見直しを進めていく必要がある。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	